

シグマ研究／専門委員会核データ情報／評価専門部会  
 弹性，非弹性散乱W.G.第3回会合議事議

日 時 昭和45年2月3日(火)  
 場 所 原研本部第3会議室  
 出 席 者 神田，村田，金森，松延，山越，五十嵐，中村

1. 作業の経過報告

a) Pu-240, Pu-239 (松延)

CINDA'69 及び他の Journal を調べたが data として使える  
 るものは2件であつた。

NSE<sub>2</sub>('57) 787 Alen

AERE-R-5972(EANDC-UK-101-AL)

この他に WASH-1071 に Legendre 展開係数がのつている。

この記入についての Format が未定である。

全般に data が少なく、standard を決めるまでには行かなかつた。

Format については Q-Value に巾がある場合、複数 level を一緒に  
 測定している場合が未定である。

b) U-238, U-235 (村田)

elastic+some inelastic の data が多く、U-238 で elastic  
 を分離しているものは Smith の data と Barnard の data だけである。

2~7MeV の data は Bachelor のもののみ。

U-235 では elastic と inelastic の分離は困難である。

data としては Armitage, Cranberg, Drake のものが対象となる。

c) Ni (金森)

natural の data のみを見た。1.5~3 MeV の範囲には data がない。

inelastic の data は少なく貧弱である。

isotope 別の調査はこれからやる。

d) Fe (山越)

CINDA'68 supplement を調べた。文献は4件である。

e) Na, O (神田)

Journal のみを調べ、 data の所在を表示する graph を作つた。

2. Data の表示及び Format の修正。

神田氏の表示法を改良して統一的に data の所在表示図を作ることになつた。

Q-value に巾がある場合、複数の levelについての data の場合の data sheet 記入を含めて format の修正を行なうこととした。

以上の件について早急に様式を決め、伝達する、担当五十嵐。 Legendre の係数の記入は作業の進んだ段階で決める。

3. その他

本年度の作業の区切として収集した data のまとめを行なうこととし、3月 10日前後の 2日位をその作業に当てる。

日時、場所は追つて決める。